

# 現場見学会のおしらせ

今年度、地区内では19棟の建物が完成ある  
いは建築中です。これらの工事の様子を直接  
見て、皆さんの建替え計画に役立てていただき  
たく、今年も現場見学会を開催します。ど  
なたでも参加できます。おさそい合わせの上、  
おでかけください。

日 時：昭和63年3月12日(土)

午後2時～4時

集合場所：雑司が谷区民集会室 2時出発

区民集会室では建替え相談所を開催し  
ています。

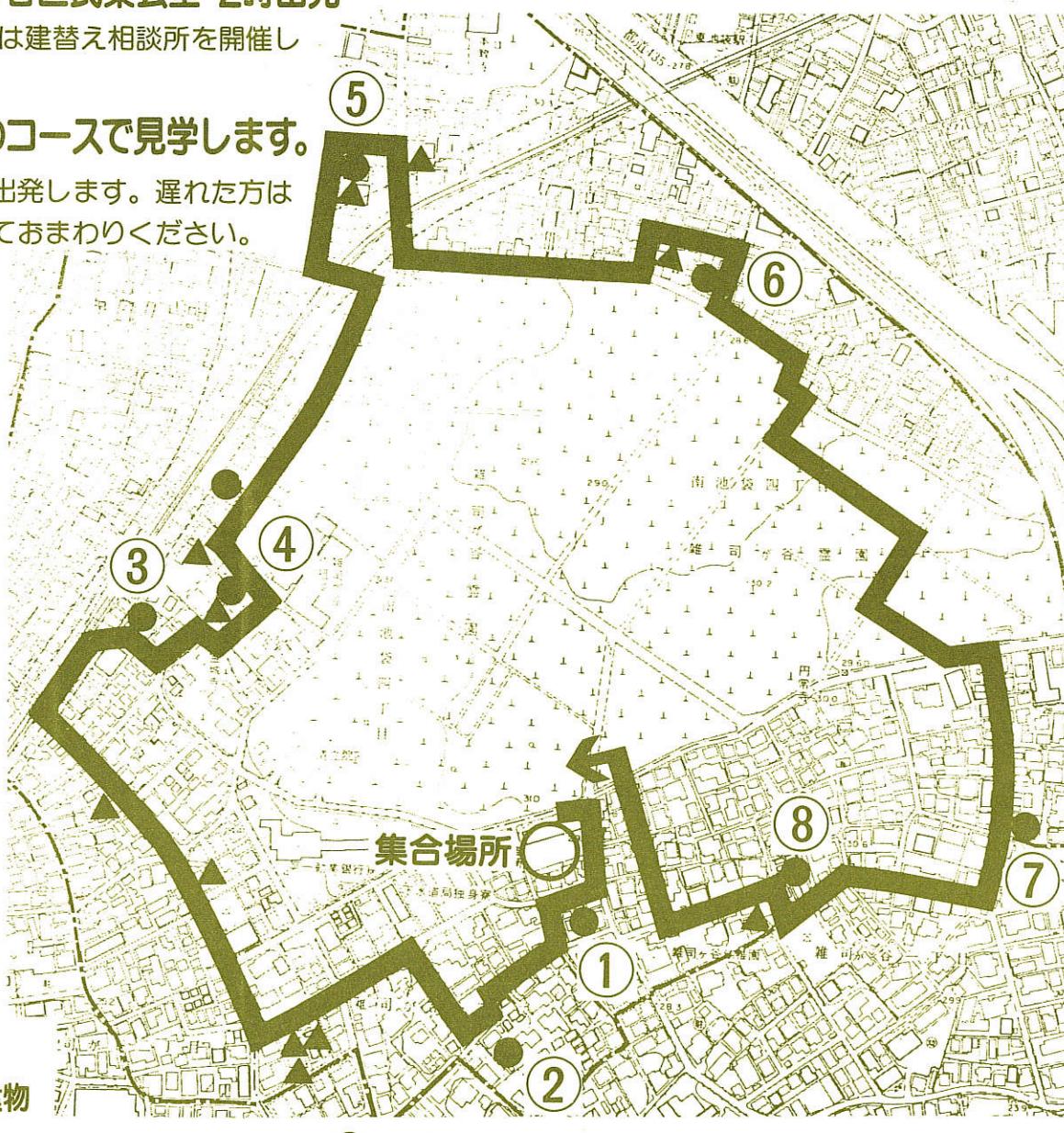
コース：下記のコースで見学します。

時間どおりに出発します。遅れた方は  
コースに従っておまわりください。



● 見学する建物

▲ 昨年完成した建物



⑤

⑥

③

④

集合場所

●

⑧

▲

②

①

雑司が谷墓地周辺地区

# 街づくりニュースNO.21

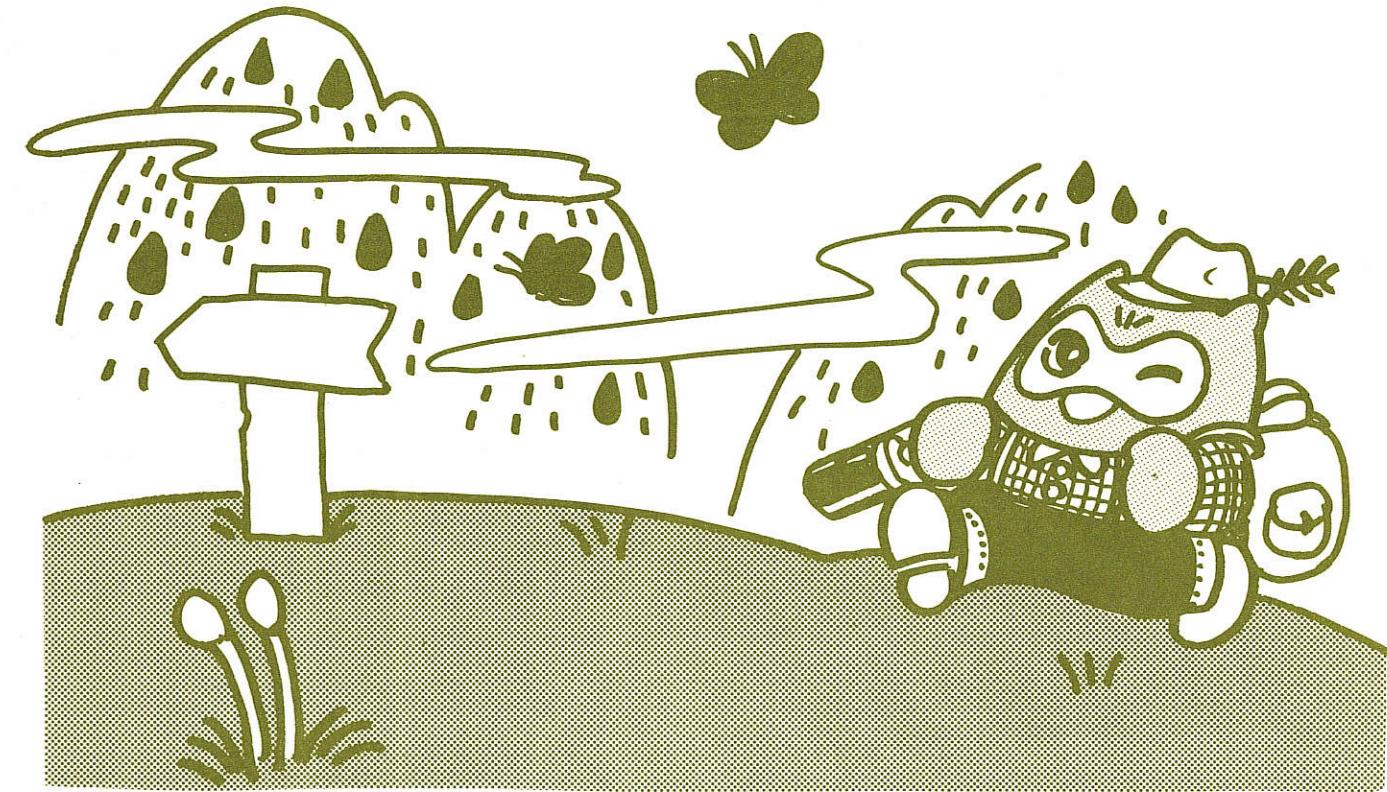
災害につよい まち をめざして

企画・発行：雑司が谷地区不燃化促進協議会

豊島区都市整備部住環境整備課

編集協力：財団法人 都市防災研究所

発行日：昭和63年3月



## 春・弥生・まちづくり

今年は暖冬で、しのぎやすい冬を送ること  
ができました。早くから、梅が咲き始め、桜  
ももうすぐの季節となりました。

昨年、8月に行つた「インナーリンク」のア  
ンケート調査には、1686人もの方にご協力を  
いただきました。改めて、お礼申しあげます。

協議会では、アンケートの結果を踏まえ、区  
長に対してインナーリンクの早期実現を提言  
しました。

今回のまちづくりニュースでは、新年度を  
迎えるにあたって、昭和62年度のまちづくり  
活動をふりかえります。

● 豊島区都市整備部住環境整備課 TEL 981-1111 内線(2862)／担当：深尾、蒲地、片山

● (財) 都市防災研究所 TEL 595-1545／担当：小川、重川、斎藤、小野／発行部数2,000部

# インナーリンク…区長提言

協議会では、去る12月22日に、豊島区長に対して、インナーリンクの早期実現のための提言を行いました。

提言の内容は、前回のまちづくりニュースでお知らせした、インナーリンクの目的や整備のイメージ、その波及効果などについて説明すると共に、その実現に向けて関係官庁との折衝を含めて、積極的な取り組みをお願いしました。

これに対して、区長からは次のような返答をいただきました。



## 区長語録



- インナーリンクは雑司が谷地区の最重要プロジェクトであると考えています。ご提言の趣旨はよく理解しております。
- インナーリンクは地区のまちづくりのシンボルであると思います。これができなければ、今まで不燃化促進事業でご苦労いただいたことに報いられないとさえ考えています。
- 墓地の全般的な問題については都の方で検討中ですが、その結論を受けてどういうふうに事業化していくかを考えることになります。

いましばらく、時間をいただきたいと思います。

## インナーリンク…アンケートの結果

昨年の8月に町会の皆さんのご協力のもとに行ったインナーリンクについてのアンケート調査の結果は以下のとおりです。

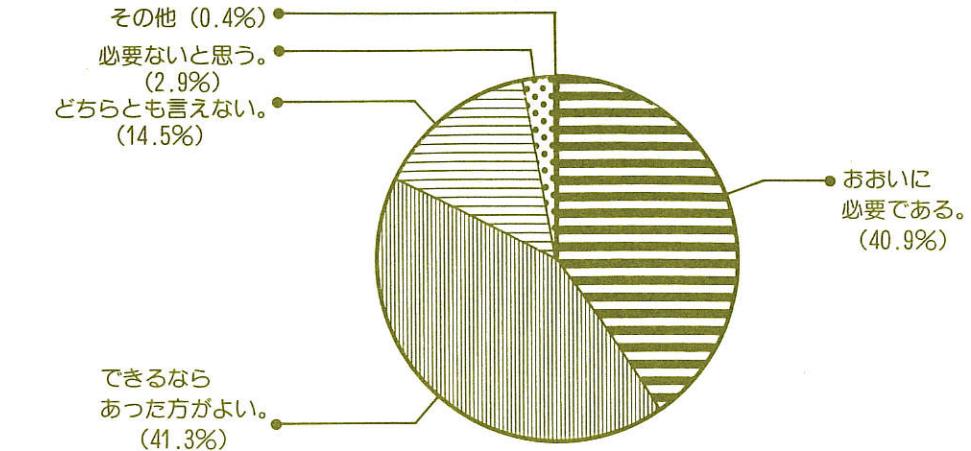
圧倒的多数である8割以上の方が、その必要性をお考えになっており、また、実現を望まれています。

整備して欲しい内容としては、街路灯の設置が最も多く、墓地周辺の防犯上の問題点が浮きぼりとなっています。

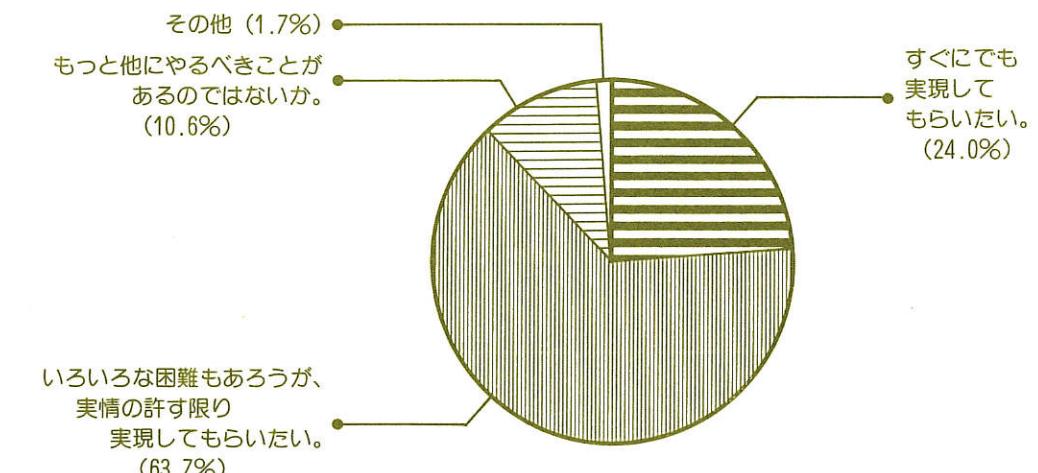
また、歩道の整備や通過交通の防止といった項目があげられ、地区の交通環境の問題点も指摘されています。

さらに、街路樹や生垣といった緑化の推進にも強い関心が寄せられています。

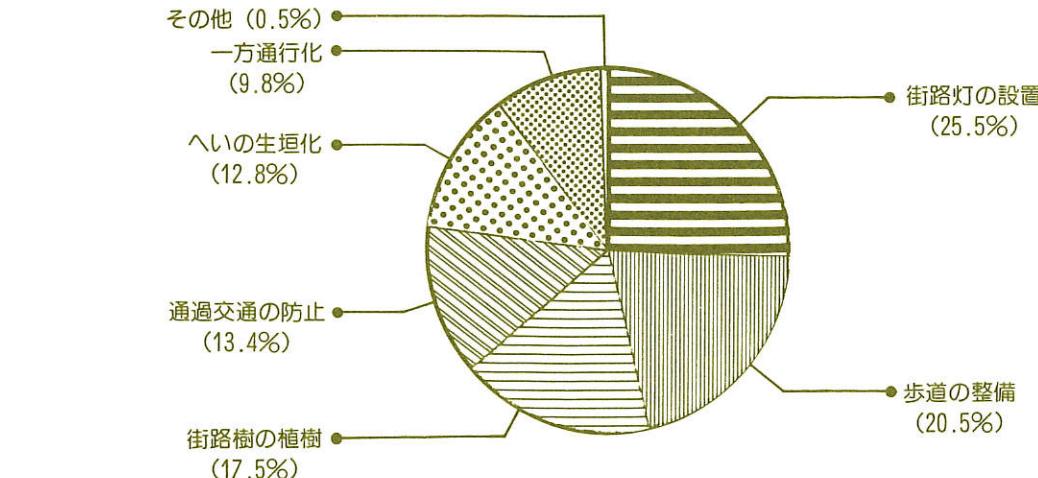
### ●インナーリンクの必要性



### ●インナーリンクの実現



### ●整備の内容





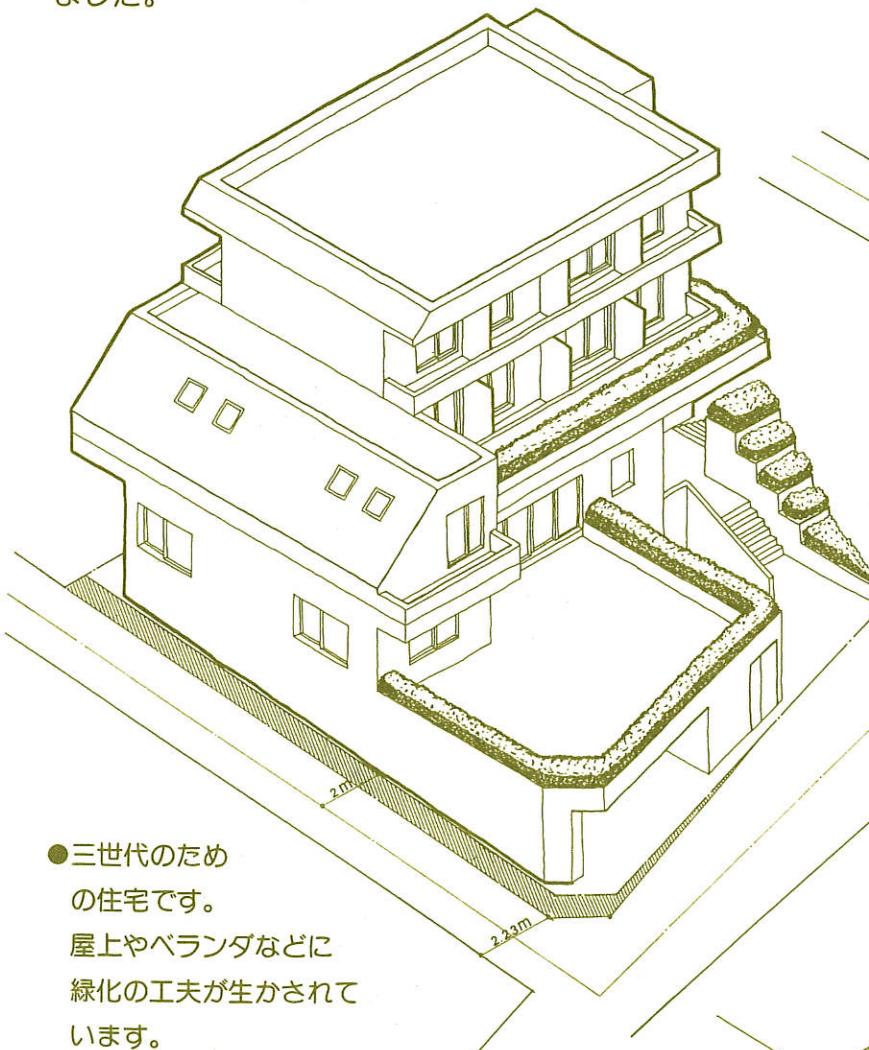
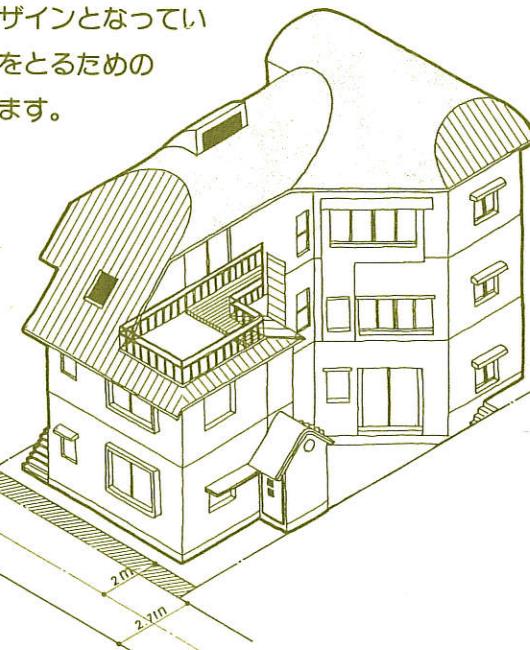
# 燃えない建物

## PART 4

不燃化促進事業が始まって、ちょうど4年間が過ぎました。今年度は、13棟の燃えない建物が建てられました。

今年度建てられた建物には、今までに増してユニークな表情を持つものが多くなっています。地区の街並みも次第に変わってきました。

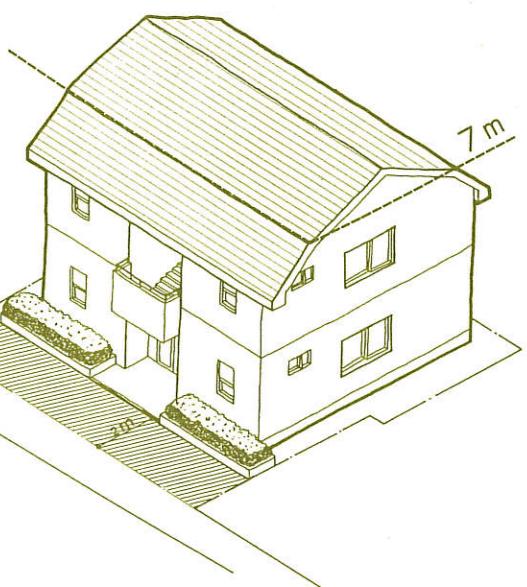
- 地区内で初の共同化の建物です。個性的なデザインとなっています。採光をとるための中庭があります。



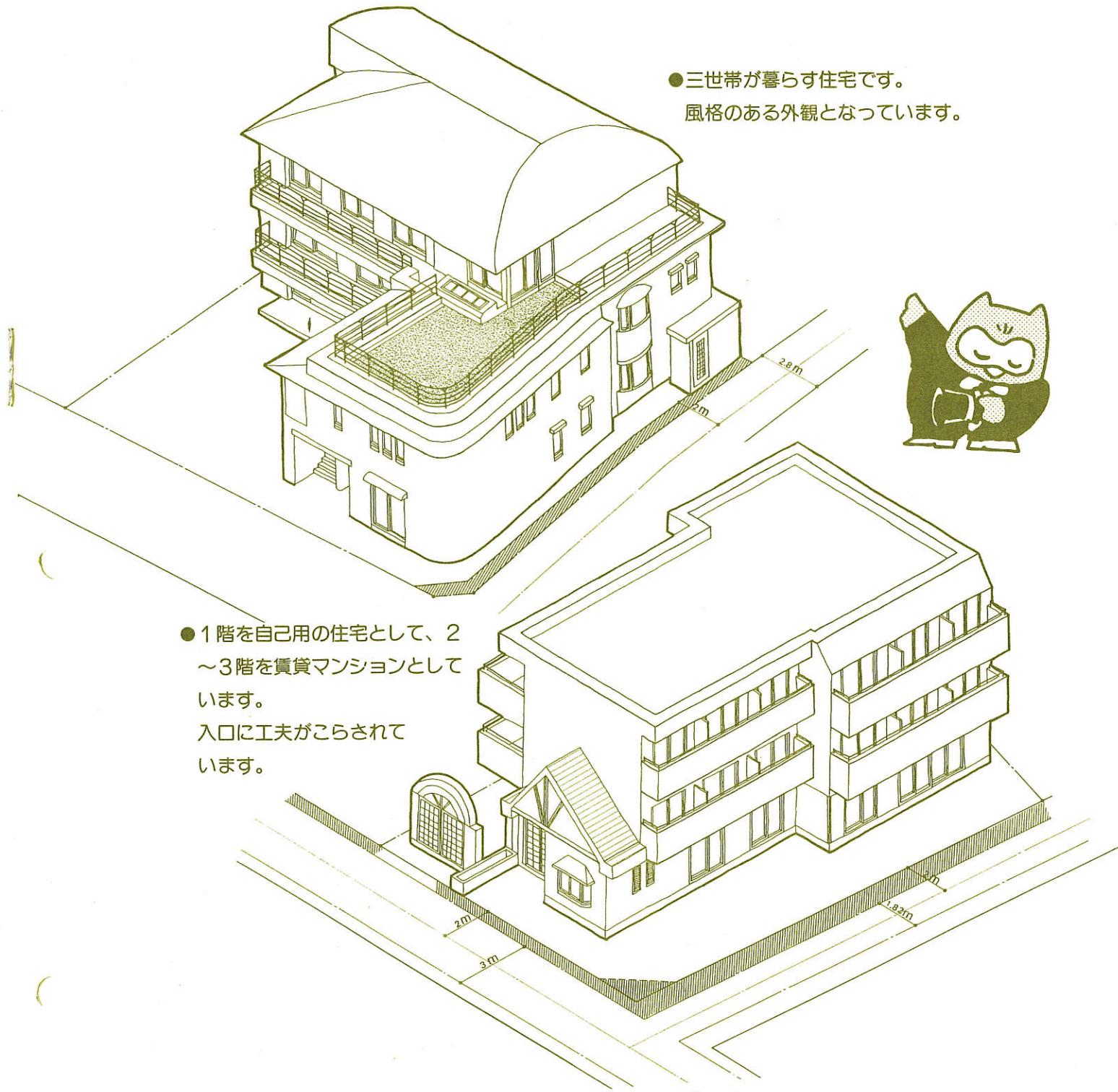
- 三世代のための住宅です。屋上やベランダなどに緑化の工夫が生かされています。



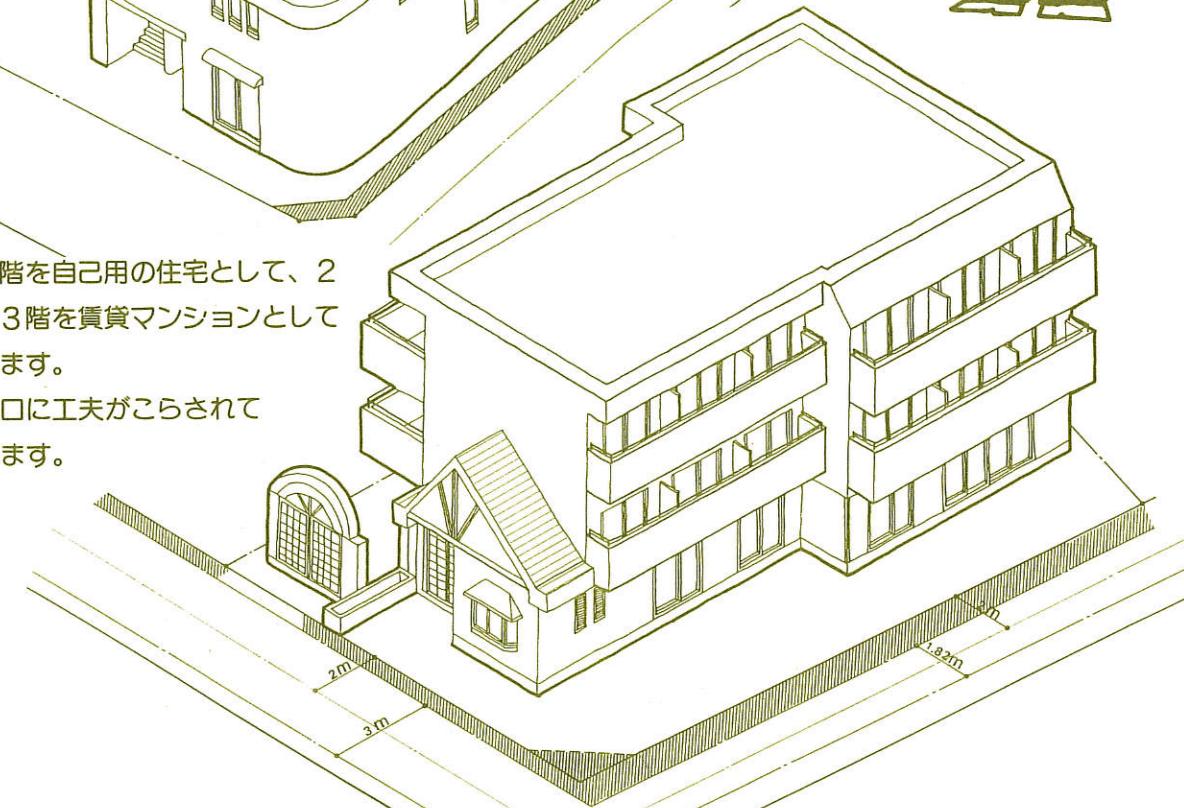
- 4戸が入っているマンションです。前後に道路があるため、屋根の形に工夫して、7m以上の高さとしています。



- 三世帯が暮らす住宅です。風格のある外観となっています。



- 1階を自己用の住宅として、2～3階を賃貸マンションとしています。入口に工夫がこらされています。

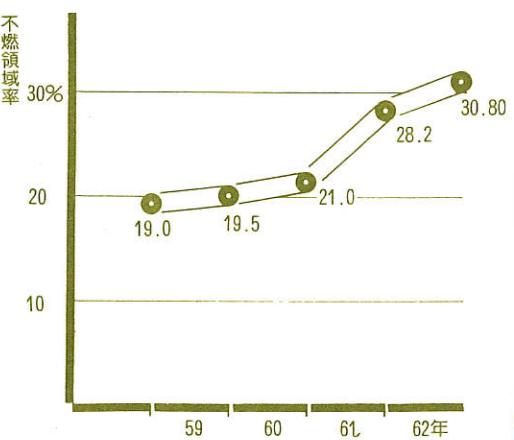


## 今年もまた一步

燃えない  
まちづくり

今年度の建替えによって、もえないまちづくりは一段と前進しました。

現在までの不燃化の推移は次のようになります、上昇中です。



# 講演会 高齢者の住みやすい家づくり

豊島区では、不燃化促進事業の助成の1つとして三世代住宅加算を行っています。また、定期相談所で、建替えの相談を行っています。



去る、11月28日、豊島区民センターにおいて、老人総合研究所の林玉子先生をお迎えして、「高齢者の住みやすい家づくり」についての講演会が開催されました。

日本は今、急速に高齢化社会を迎えようとしています。その速度は、欧米各国に比べて極めて早いため、私達はそれにどう対応したらよいかわからずにいるのが現状です。林先生は、「今の内に、準備しておくことが必要」と訴えています。それはまた住宅についても言えます。高齢者に住みやすい家とは、みん

なが住みやすい家であるし、また、自分がいざれ迎える老後のための家なのです。

一口に高齢者と言っても、65才を過ぎてもまだまだ元気な方があおせいいらっしゃいます。林先生は、「自分の心と体が自分の意のままに行かなくなつた時」を老人と定義しています。

それでは、高齢者が住みやすい家とはどんな家でしょうか。林先生は次の3つをあげています。

① 安全であること。

② 老化による心身機能の低下を補つてくされること。

③ 少しでも長くそこで生活できること。今回は上のうち、安全な家づくりのポイントについてお知らせします。

みなさんも、これを参考にして、高齢者になつても住み続けられる家づくりについて考えてみてはいかがでしょうか。

区で行っている、不燃化や三世代住宅の助成を生かし、21世紀にを迎える高齢化社会の生活環境を、今から用意しておきたいものです。

